

- 1 日時 令和4年11月28日(月) 4校時
- 2 学年・学級 第1学年
- 3 主題名 いつも正直に(A 正直, 誠実)
- 4 ねらい うそをついたりごまかしをしたりしないで, 明るい心で生活しようとする心情を育てる。
- 5 教材名 「どんぐり」(出典 東京書籍「あたらしい どうとく」)
- 6 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、学習指導要領第1・2学年の内容項目 A「主として自分自身に関すること」「2 正直, 誠実」の「うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。」を受け設定したものである。

過ちや失敗をした時に, それらをごまかすことで信頼を失ったり, 自分自身の中に後悔が生まれたりする。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり, 自分自身に対する真面目さであり, 伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさでもある。低学年においては, 発達的特質から, 特に自分自身の言動を他者から叱られたり笑われたりすることから逃れようとする気持ちが働くことが少なくない。そのために, うそを言ったりごまかしをしたりして暗い心になることが見受けられる。いけないことをしてしまったときには素直にその非を認め, あやまることができるとともに, 人の失敗を責めたり笑ったりしないようにし, 正直で素直に伸び伸びと生活できる態度を養うようにすることが求められる。

(2) 児童の実態について

児童の実態については, アンケート等をもとに記入しています。

(3) 教材の特質と活用方法

本教材は, 主人公「ようすけ」が下校途中にどんぐりを拾って帰宅が遅くなったことをごまかそうと, 母にうそを2回もつくという話である。「ようすけ」は, 帰宅が遅くなったことで「むねがどきどき」し, いけないことをしてしまったと認識している。母に謝りつつも, 帰宅が遅くなった理由を正直に話さずうそをつく。教材は, 主人公が1つ目のうそを正当化するために2つ目のうそをついてしまい, 「さっきよりもっともっと胸がどきどきした」場面で終わる。

指導にあたっては, 導入でうそをついたときの気持ちを考えさせた上で, 本文へつなげていく。展開の前半では, 主人公がどんぐり拾いに夢中になる気持ちやいつものように堂々と帰ることができない気持ち, 母親に2回もうそをつく気持ちを押さえることで, 中心発問で多様な発言を引き出していきたい。展開の後半では, 今後のようすけの行動について話し合い, 補助発問や役割演技を

通して自分の事として考えながら、正直に言うことの大切さに気付かせていく。終末では、自分自身の体験と重ね合わせながら振り返っていきたい。

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応 (○基本発問 ◎中心発問 △補助発問)	指導上の留意点(・) 評価の視点(☆)
導入	1. うそをついたときの気持ち話し合う。	○うそをつくとき、どんな気持ちになりますか。 ・いやなきもち。 ・もやもやする。 ・くらいきぶん。 ○いけないことをしたときに、素直にごめんなさいと言うことは、なぜ大切なのだろう。	・うそをついたときの気持ちを想像しておく。 ・どんぐり拾いの楽しかった体験を想起させる。
展開	2. 教材を読んで、ようすの気持ちを考える。	○むちゅうで拾っているとき、どんな気持ちだったでしょう。 ・たのしいな。 ・もっといっぱいひろいたい。 ・どんぐりでなにかつくりたいな ○そっと玄関の戸を開けたとき、むねがドキドキしたのは、どんな気持ちからでしょう。 ・かえりがおそくなっちゃった。どうしよう。 ・おかあさんにおこられるかな。 ・よりみちしてしまったから、おこられる。 ○ランドセルからどんぐりが落ちたとき、どう思ったでしょう。 ・やばいな。 ・うそがばれておかあさんにおこられる。 ◎「さっきよりもむねがドキドキした」のは、どうしてでしょう。 ・このままだまっていよう。 ・うそがばれたら、おこられる。 ・2かいもうそをついたから、しょうじきにいけない。 ・はじめからしょうじきにいえばよかった。 ・いまからでもしょうじきにいおうかな。	・寄り道はいけないと分かっているけど、楽しくて時間を忘れていることに共感させる。 ・教師が実際に演じながら、いつものように大きな声で「ただいま」が言えない気持ちを想像させる。 ・ランドセルからどんぐりを落とす所を見せ、気持ちの高ぶりを追体験させる。 ・さっきのドキドキとは違う気持ちを話し合わせ、多様な考えを引き出す。

		△この後、ようすけはお母さんに本当のことを言ったかな。それはなぜかな。 【言わない】 ・だまっていたら、ばれない。 ・2回もうそをついたから、もう言えない。 【言った】 ・正直に言ったほうが、気持ちがいい。 ・本当のことを言うと、許してくれる。 ・うそをついたままではいやだ。 △正直に言ったら、お母さんにすごくおこられて、嫌な気持ちになるかもしれないよ。 それでも、正直に言った方がいいのかな。 ・今からでも言ったほうがすっきりする。 ・このままではよくない。 △ようすけくんになって、お母さんにうそをついたことをあやまってみようかな。	・ワークシートに自分の考えを書き、二つの意見を対比させながら話し合っていく。 ・児童の発言に問い返ししながら、過ちを乗り越えようとする気持ちに気付かせていく。 ・役割演技を通して、正直に言うことの大切さを自分のこととして考えられるようにする。
終末	3. 本時の学習を振り返る。	○いけないことをしたときに、素直にごめんなさいと言うことは、なぜ大切なのだろう。	☆うそをつかないで伸び伸びと生活しようと考えている。(ワークシート・発言)

◎ようすけは、さっきよりもむねがときどきしたのは、どうしてだろう。

・うそがばれたら、おこられる。



・2かいもうそをついたから、しょうじきにいけない。

・はじめからしょうじきにいえばよかった。

☆うそをつかずに、正直に言うことの大切さに気付く。



この後、ようすけはお母さんに本当のことを言ったかな。それはなぜかな。

正直に言ったら、お母さんにすごくおこられて、嫌な気持ちになるかもしれないよ。

2回もうそをついていて、ようすけくんは本当のことを言えるかな。



・正直に言ったほうが、気持ちがいい。
・だまっていたら、ばれない。



・今からでも言ったほうがすっきりする。
・このままではよくない。



・うそをついたことも謝った方がいいと思うよ。
・正直に言ったほうが、すっきりするよ。



本時のゴールイメージ

・いけないことしてしまったときには、素直にその非を認め、あやまることができる。

9 板書計画

どんぐり
ひろいの
写真

しょうじき
↕
うそ

場面絵

よりみち
むちゅう

- ・たのしい。
- ・どんぐりがいっぱいある。
- ・いっぱいとりたい。

場面絵

むねが
どきどき

- ・おかあさん、おこっているかな。
- ・よりみちしたから、おこられる。

うそ1

「めんなさい。こうじさんと学校であそんでいたんだ。先生も、いいっていったんだよ。」

うそ2

「こうじさんがくれたんだよ。」

さつきよりも もつと むねが どきどきしたのは どうしてでしょう。

- ・このままだまっていよう。
- ・うそがばれたら、おこられる。
- ・二かいもうそをついたから、しょうじきにいえない。

このあと、ようすけんは、本当のことを いったでしょうか

いった

↕

いわない

- ・いうと、すっきりする。
- ・いわないと、もやもやしたまま。
- ・おかあさんにわるいをした。
- ・うそがついてしまふ。

しょうじきと うそとの たいせつな